

広報交流協会



稲城市を空より望む

交流協会の紹介	2 ページ
市長挨拶 稲城市市長 高橋勝浩氏	3 ページ
寄稿紹介「稲城市と38回の思い出」	
めまんべつ産業開発公社 専務理事 福田重幸氏	4 ページ
交流協会の設立の歩み	5 ページ
稲城市の姉妹友好都市紹介	6 ページ
理事挨拶	14 ページ
交流協会の事業紹介	21 ページ
今後のイベント紹介とお知らせ	27 ページ



1 はじめに

稲城姉妹友好都市 交流協会会長挨拶

会長 安東 道正



この度、姉妹都市及び友好都市との相互交流を通して、心豊かな市民生活の向上と地域の活性化に寄与することを目的に、稲城市姉妹友好都市交流協会（以下、「交流協会」）を設立いたしました。

これまで、稲城市では平成3年に北海道大空町（当時北海道女満別町）と姉妹都市となり、平成27年には福島県相馬市、長野県野沢温泉村とそれぞれ友好都市協定が締結されました。また、海外においては、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市との姉妹都市提携が令和3年7月27日に締結されました。交流協会は、稲城市と姉妹都市、友好都市を結んだそれぞれの市、

町、村にお住まいの子どもから大人まで全世代の皆様、さらには、稲城市内に居住されている約1500名の外国人の方々との交流を通してそれぞれの文化を体験し、参加していただける会を目指しています。

海外、国内、地域における交流に興味のある方、交流協会の活動にご賛同をいただける方はぜひ、正会員、賛助会員になっていただき、今後の交流協会の運営にご支援をいただき、正会員になられた方は積極的に活動にご参加いただきますようお願い申し上げます。

2 交流協会の 事業紹介

交流協会では、設立目的を達成するために、次の事業を行います。

- ▼ 交流に関する情報の収集及び発信

- ▼ 交流に関するイベントの企画、実施及び支援
- ▼ 市民団体、官公庁その他の関係団体との協力及び連携
- ▼ その他、協会の目的達成のために必要な事業

また、各事業の実施に向けて、委員会活動を展開しております。

【海外交流委員会】

アメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市との交流事業を企画・実施

【国内交流委員会】

北海道大空町、福島県相馬市、長野県野沢温泉村との交流事業を企画・実施

画・実施

【地域交流委員会】

稲城市在住外国人等、地域で行う交流事業を企画・運営

【理事会】

協会の最終決定機関として、委員会から提案された事業や活動内容について承認を行う。協会の運営方針の変更・決定を行う。



フォスターシティ市姉妹都市提携 締結式

3 市長挨拶

稲城市長 高橋 勝浩

稲城市姉妹友好都市交流協会の 1周年に際して

稲城市姉妹友好都市交流協会の
設立一周年記念に際し、お祝いを
申し上げます。

令和2年9月27日に本協会が設
立され、はや一年半を迎えようと
していますが、この一年を振り返
りますと、長期間に渡る新型コロ
ナウイルスの影響により、市民の
日常生活をはじめとする多くの行
動が著しく制限されてきました。

市民が自発的に活動に参加し、
稲城市と姉妹都市、友好都市の交
流につなげていくことを目的とす
るこの協会の多くの活動も例外で
はなく、特に交流の相手先と当市
の双方が行動制限を余儀なくされ
る結果となりました。

そのような状況の中にあつて、
昨年7月27日に行われた本市とア
メリカ合衆国カリフォルニア州サ
ンマテオ郡フォスターシティ市

との間で、オンラインによる姉
妹都市提携締結式を実施できたこ
とは、両市にとって大変明るい
ニュースとなりました。

思い起こせば、私自身も平成27
年8月5日に初めてのフォスター
シティ市訪問のため、サンフラン
シスコ空港に降り立ったことが、
つい昨日のことのように思い出さ
れます。

翌日は当時フォスターシティ市
議会議員だったスティーブ岡本さ
らにご案内をいただきながら、市
内の公園やラグーン、整然とした
街並みを視察し、サンフランシス
コ湾に沈む美しい夕日などを観な
がら、是非とも稲城の市民の皆
様にもこの景観をご覧いただき、
フォスターシティ市の魅力を知っ
ていただきたいと心から感じたも

のです。

その後も交流協会の前身である
運営準備会の方たちがフォスター
シティ市を訪れるなど、着々と準
備を進め、私が初めて現地に足を
運んでから約6年の歳月を経て、
ここに初めて海外都市との姉妹都
市提携を締結できたことは、実に
感慨深いものを感じております。

今後は、国内の姉妹都市である
北海道大空町、友好都市である福
島県相馬市、長野県野沢温泉村と
並んで、海外都市であるこのフォ
スターシティ市との市民交流が活
発に行われることを切に望んでお
ります。特定の相手先との交流を
目的とした交流協会ではなく、包
括的な交流を目的とした交流協会
は稲城市独自のものと自負してお
ります。

今後是非、行政とは違った市
民目線の観点から様々な交流を模
索していただき、姉妹友好都市の
魅力を稲城市民にお伝えいたたく
とともに、交流先の自治体の住民
の皆様にも稲城市の魅力を知って
いただき、今まで以上により良い
交流と相互の持続的発展につな
がりますことを期して止まないこ
ろです。

最後になりますが、日々、姉妹
友好都市との交流のためにご尽力
をいただいております安東会長、
中井副会長をはじめ交流協会の理
事の皆様、会員の皆様から心から
感謝と敬意を表し、私からのお祝
いのご挨拶とさせていただきます。



4 寄稿紹介

稲城市と38回の思い出

一般財団法人

めまんべつ産業開発公社

専務理事 福田 重幸

私と稲城市のお付き合いは平成3年、児童交流事業で当時小学5年生の長男とPTA役員として稲城市立第八小学校を訪問したことから始まります。

当時、私は女満別町役場職員であったことから、スポーツ、文化、産業と様々な分野での交流に参画させて頂き沢山の思い出がありますが、私にとって稲城市を語るには松本一宏氏なしでは語れません。

私と松本氏とのお付き合いは、松本氏が稲城市職員時代の頃にさかのぼります。松本氏には、平成20年に梨販売用の店舗内にアンテナショップほのか稲城店を開設し

て頂き、女満別町時代から今日に至るまで本町のPRや特産品販売まで稲城市とのパイプ役としてご尽力を頂いております。

今回、執筆のお話を頂き、備忘録を紐解いてみましたら、私が今まで稲城市を訪問した回数は通算で38回を数えていました。その間の稲城市との思い出は数多くありますが、特に印象に残っている出来事としては、いなぎ市民まつりが台風で中止になり、大量の販売用農産物の行き場がなくなってしまう、途方に暮れたことや、よさこいソーラン祭りに女満別龍舞隊と稲城チームで合同チームを結成して札幌の本選に出場しましたが、本番前日に札幌市で初めて顔合わせと演舞チェックを行ったため、当時龍舞隊の歌い手として参加しておりました私にとっては、本番が上手くいくかどうか心配で、マイクを持つ手が震え、ひや汗が出たことが今でも思い出されます(笑)

また、私の一番の趣味は手打ち



そばですが、師匠は東長沼にある「花子茶屋」の(故)藤田のおじいちゃんです。藤田のおじいちゃんには、そば打ちのいろはからそば切りまで、そばが出来上がるまでの工程を丁寧に教えていただきました。そのほか、稲城市の多くの職員の皆さんと懇意にしていたので、こちらから稲城市に伺った際も、稲城市から大空町に職員が来られた時にも、夕食時には必ず盃を酌み交わしながら楽しいひと時を過ごしました。時には夢を語りながら夜更けまで飲み明かしたりすることもありました。



このように、私にとって稲城市はまさしく第二の故郷なのです。姉妹都市提携30周年を迎え、微力ではありましたがその一助として活動させていただいたことを幸いに感じております。今後も稲城市と大空町相互の交流が永遠に続きますことをお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

5 交流協会 設立への歩み

昭和63年

北海道女満別町出身の元都立高校長の紹介による子どもたちの作品交流が行われる。

平成3年11月

北海道女満別町と姉妹都市提携が結ばれる。

平成7年11月

北海道女満別町と災害時において被災者に対する救護等を実施するための、「災害時相互応援協定」が締結される。

平成18年7月

改めて姉妹都市として北海道大空町との調印が行われる。

平成17年11月

長野県野沢温泉村と「あつまれ稲城っ子！野沢温泉塾」の調印を行い、市立小学校の夏季宿泊体験学習や市立中学校の冬季宿泊体験学習（スキー教室）など教育分野での交流が始められる。

稲城市の姉妹友好都市の歴史と 交流協会設立までの経緯を振り返る

平成20年7月

長野県野沢温泉村と「災害時等相互応援協定」が締結される。

平成23年6月

平成23年3月に起きた東日本大震災発生後、稲城市から相馬市への救援支援をきっかけに、相馬市と「災害時等相互応援協定」が締結される。

平成27年4月

「稲城市姉妹友好都市提携検討市民会議」を設置し、相馬市・野沢温泉村との友好都市協定の検討が始められる。

平成27年8月18日

福島県相馬市と友好都市協定が結ばれる。

平成27年11月17日

長野県野沢温泉村と友好都市協定が結ばれる。

平成29年1月

平成27年10月に設置された「稲城市海外姉妹都市提携検討市民会

議」及び平成28年6月に設置された「稲城市海外姉妹都市検討市民会議」での検討の結果を踏まえ、

市民会議の代表委員によるアメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市への現地視察を実施し、海外姉妹都市に相応しい都市であるという旨の提言がなされる。同時に、海外姉妹都市交流及び国内の姉妹都市・友好都市交流を担う、市民が主体となった団体の立ち上げが必要である旨の提言がなされる。

平成31年2月

平成29年9月に設置された「稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会」において、組織体制や事業内容について検討がなされ、「交流協会の具体的な事業実施・運営は、国内交流委員会・海外交流委員会・地域交流委員会の3つの委員会が相互に連携しながら進めるもの」との提言が提出される。

令和元年7月

設立準備会の委員を中心に「稲城市姉妹友好都市交流協会運営準備会」が設置され、将来的に交流協会の運営を担っていく市民により、設立に向けた具体的な準備として、設立後の運営体制や運営方法などが検討される。

令和2年9月27日

稲城市姉妹友好都市交流協会が設立される。

令和3年7月27日

アメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市と姉妹都市提携が結ばれる。



令和2年9月27日

稲城市姉妹友好都市交流協会 設立総会

6 姉妹友好都市の紹介

【北海道大空町】

大空町は、平成18年3月31日、女満別町と東藻琴村が合併して誕生しました。オホーツクの空の玄関女満別空港を擁する四季の自然が豊かな町です。特に「メルヘンの丘」は女満別空港から網走方面に向かう国道39号沿いに位置し、網走湖を望むことができる絶景スポットとして有名です。また、黒澤明監督の「夢」の撮影現場として使われた「朝日ヶ丘公園」は秋に咲く畑一面に広がる黄色い太陽と呼ばれるひまわり畑が有名です。

もこと乳酪館」では、東藻琴地区特産のチーズの販売やバターづくり体験ができることで有名です。

町の大きなイベントとしては、5月から6月にかけて行われる

「ひがしもこと芝桜祭」、女満別湖畔でポートルースが繰り広げられる「めまんべつ観光夏まつり」、

牧草ロール500kgを男4人1チーム、女5人1チームで転がして競う「ノンキールランドふるさとまつり」などが有名です。また、夏の

風物詩として網走湖、女満別湖畔ではキャンプ場前の浜で「しじみ採り」を楽しめます。指定の袋を購入し、その袋にしじみを詰め放題できるというシステムです。

主幹産業は農業で、麦類、じゃがいも、甜菜（グラニュー糖の原料）、豆類、野菜で、その他には

日本最東端の米など多岐にわたって栽培されています。

大空町の特産品は、トマトジュース・サラダジュース・味噌・わかさぎ佃煮・えんどう豆焼酎「野良美人」・もち米酒「めんこ稲」・

チーズ・ヤマベの甘露煮など数多くあります。

大空町という名称は、澄み切った大空、そしてその大空の下に広がる実り豊かな大地のもとで、住民が夢や希望を持ち、晴れ晴れとした気持ちで暮らしていくことをめざすために命名されました。

稲城市の姉妹友好都市は日本国内に3都市、海外に1都市あり、歴史、風景、名産品等それぞれ魅力あふれる街です

稲城市とは、平成3年11月の旧女満別町との姉妹都市締結以来、児童青少年、芸術、文化、スポーツ、産業、消防団など、幅広い分野での交流を続けてきており、令和3年度は稲城市と大空町の姉妹都市締結30周年を迎え、両自治体の友好関係、協力関係はより一層の進展を続けていきます。



メルヘンの丘（大空町観光協会提供）



網走湖女満別湖畔

(大空町観光協会提供)



藻琴山登山口からの眺望

(大空町観光協会提供)



大空町観光協会提供



大空町観光協会提供



ひがしもこと芝桜公園

(大空町観光協会提供)

大空町は北海道の北東部に位置し、豊かな自然と田園風景が身近です。網走湖や広大な農場の風景は特に有名で、春には芝桜が咲き誇ります。また、稲城市とは物産と通じた交流が盛んで、市民交流も盛んに行われています。

大空町と稲城市は 姉妹都市交流30周年

交流のはじまり

昭和63年に旧女満別町出身で元都立高校長であった河野全一氏が橋渡しとなり、子どもたちの作品交流をはじめとして、教育分野（児童交流）を中心に進められました。平成3年に姉妹都市提携が結ばれました。その年から、女満別小学校と稲城市立第八小学校の相互訪問事業が始まり、交流が本格的にスタートしました。

その後、女満別町と東藻琴村の合併を経て、平成18年7月に改めて姉妹都市として調印を行いました。女満別町が大空町になってからの姉妹都市交流は16年目となります。

今では、教育分野はもちろん、文化、スポーツ、産業・経済など幅広い分野での交流が行われています。

【ホームステイ交流】

毎年夏に稲城の子どもたちが大空町を訪れ、受け入れ家族の家に宿泊して酪農や漁業を体験したり、地域の行事に参加しています。そのお返しに、お正月明けには大空町の子どもが稲城に来て、夏に仲良くなった子の家に宿泊します。受け入れる各家庭では、子どもたちが楽しい時間を過ごせるように、都内観光に連れて行ったり遊びに行ったりするそうです。

【町民運動会の参加】

平成27年7月12日、大空町で開催された町民運動会に、交流団チームとして参加しました。

この町民運動会は、大空町の誕生10周年を記念する行事で、大空町

の友好町である熊本県水川町と一緒に参加し、徒競走や玉入れ、綱引きなど、大空町の皆さんと共に汗を流しました。



【大空町のじゃがいもが給食に！】

稲城市の「梨」を大空町に送り、大空町からは「じゃがいも」をいただし、それぞれの学校給食で児童生徒に食べてもらう地場産物の交流を行っています。



【市民団体との交流】

稲城市芸術文化団体連合会は平成3年から毎年北海道大空町文化団体協議会と交流を重ねています。平成3年は15名で大空町（当時女満別）を訪問しました。以後、毎年交互に訪問をして交流を深めています。

また、よさこい団体の女満別龍舞隊が稲城市龍舞隊のメンバーと合同チームを編成して、毎年札幌で開催されるよさこいソーラン祭りに出場しています。





八幡神社

(相馬市観光協会提供)



相馬野馬追

(相馬市観光協会提供)



相馬野馬追は、相馬氏の祖・平将門が行った原野の馬を捕らえる軍事訓練と、その馬を神前に奉納したことを由来としています。史跡中村城跡での総大将の出陣式を皮切りに、500余騎の騎馬武者が3日間にわたり戦国時代絵巻を繰り広げます。壮麗な「お行列」、花火で上空に打ち上げた御神旗を騎馬武者たちが争奪する「神旗争奪」の熱戦、甲冑姿の若武者による「甲冑競馬」など多くの見どころが満載で、毎年全国各地から多くの観光客が訪れています。

【福島県相馬市】

福島県相馬市は県の東北端に位置し、西に阿武隈山地、東は太平洋を臨む自然に恵まれたまちです。JR常磐線と国道6号線が南北に走り、古くから福島県の沿岸地域における交通の要衝、また文化の中心としても栄えてきました。こうした地勢や資源を生かした農業、水産業、観光がさかんなほか、工業の分野でも、重要港湾相馬港を拠点とする相馬中核工業団地（総計632・5ヘクタール）を造成し、優良企業の立地促進などを進めています。

自然豊かな相馬市では、海の幸、山の幸を四季を通じて食することができます。

相馬沖合海域では、冷たい「親潮（千島海流）」と温かい「黒潮（日本海流）」が交じり合う好漁場が形成されるため、とりわけ水産物は豊富な水揚げを誇り、新鮮な

海の幸やそれを使用した海鮮加工品が豊富です。また、それ以外にも農林水産大臣賞を受賞した醤油や国際コンクールで金賞を受賞した米、黒毛和牛の「相馬牛」など、多くの美味が揃っています。

国の重要無形民俗文化財の相馬野馬追は、一千余年の歴史を誇り、史跡中村城跡での総大将の出陣式を皮切りに、約500余騎の騎馬武者が戦国時代絵巻を繰りひろげる伝統行事で、毎年全国各地から多くの観光客が訪れています。また、相馬市の沿岸部にある松川浦県立自然公園は日本百景の一つにも選ばれており、風光明媚な佇まいが松島に似ていることから「小松島」と呼ばれ、朝日と夕日の両方が同じ場所で見られるスポットもあり、多くの観光客が訪れています。

稲城市とは、東日本大震災の復興・復興支援で交流を深めてきた関係から、平成27年に友好都市協定を締結しました。

【長野県野沢温泉村】

野沢温泉村は古くから温泉地として栄えていました。大正12年の飯山鉄道の桑名川までの開通、大正14年の長野電鉄の屋代・木島間の開通など村までのアクセスの改善を背景に、数々のスキー競技会の開催などにより、野沢温泉スキー場は着実に発展を遂げてきました。

昭和38年にはスキー場が施設を含めてすべて村営となり、住民と行政とが一体となった観光地開発が進み、一層の充実が図られてきました。

また、昭和46年2月にはオーストリアのサン・アントン村と姉妹村提携が行われ、以来、スキー教師交換交流、村民交流が行われ、国際親善に役立ってきました。

平成10年には長野五輪の会場の一つに野沢温泉スキー場が選ばれて、世界的に野沢温泉の名前が広

がりました。それに伴い、上信越自動車道 豊田飯山IC、北陸新幹線が飯山市まで開通して首都圏、名古屋圏等外部へのアクセスの便が飛躍的に良くなり、居住空間及び生産活動における立地条件の改善が図られています。

稲城市と野沢温泉村とは、平成17年に「あつまれ稲城っ子！野沢温泉塾」開講の調印を行い、市立小中学校の夏季及び冬季の体験学習を受け入れ、10年間にわたり教育分野での交流を続けてきました。その後、平成20年に、災害時等相互応援協定を締結し、交流が深まる中、住民の間に芽生えた友情を大切にし、相互理解や信頼関係を深めるため、平成27年11月17日に友好都市協定が結ばれました。

これからも稲城市の子どもたちが野沢温泉村の自然に触れ、住民の皆さんとの暖かい交流を通して、良い思い出をたくさん作ってほしいと思います。



冬のスキー場と樹氷

(野沢温泉村観光協会)



大湯

(野沢温泉村観光協会)



野沢温泉村は長野県の雄大な山々を活かしたスキーと、古くから知られる野沢温泉が広く著名な街です。市内には大湯など数多くの公衆浴場が設置されており、冬の湯治は特に情緒が感じられます。稲城市とは古くから姉妹都市交流が盛んで、スキー合宿や災害連携がなされています。



(野沢温泉村観光協会)

【アメリカ合衆国 フォスターシティ 市】

サンフランシスコ湾に位置する、1971年4月1日に設立された計画都市であり、『T・ジャック・フォスター』によって計画・建設されたのが市名の由来です。自然を生かし、水辺を工夫し、美しいウォーターフロント都市として開発されました。湿地をうまく利用して、湖や水路を改良整備し、ショッピング施設にも小舟の為に船着き場を作るなど、水辺と共生する郊外型ニュータウンとなっており、ベイエリアにはIT企業や日系企業の駐在員が住む高級住宅街が立ち並んでいます。古い建物は再開発され、新しい街に生まれ変わっていて、スポーツと教育に熱心な市でもあります。

海外姉妹都市の候補地については、稲城市に相応しい都市を選定

するため、様々な観点からゼロベースでの議論を重ねてまいりました。

その結果、候補地選定の観点として、「青少年の健全育成ができる」ところ」「教育交流ができる」ところ」「スポーツ交流ができる」ところ」「文化交流ができる」ところ」「英語圏である」ところ」「都市の規模が稲城市と似ている」ところ」「距離が近い」ところ」「治安が良い」ところ」という意見が多くあり、それを参考に候補地の選定を行いました。

具体的な候補地については、過去に交流実績のあった都市を中心に、21の都市を挙げ、前記の観点に参考を絞りました。最終的には、前記の観点に合致し、先方で稲城市との姉妹都市提携の希望があったことから、アメリカ合衆国のカリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市を海外姉妹都市の候補地として絞り込みまし

た。平成29年1月11日から14日までの日程で現地視察を行い、フォスターシティ市が海外姉妹都市として相応しい都市であることを確認しました。

フォスターシティ市は、サンフランシスコ空港から約10km圏内にあり、サンフランシスコ・羽田間には直行便も就航していることから、渡航の利便性も良好です。また繁華街やダウンタウンなどがなく、全米でもベスト8に選ばれるほど安全な街であり、さらに白人45%、アジア人45%という人種構成から、日本に対するイメージも良好で、海外姉妹都市提携を進める上では、子どもから大人まで、安心して交流を行うことができる街です。

人口が3万人程度であり、お互いを理解するためにも、交流相手として適度な規模となっていています。さらに、市制施行が稲城市と同じ1971年（昭和46年）であ

り、ベッドタウンであること、水を活かした街づくりをしていることなど、稲城市との共通点も数多くあります。またフォスターシティ市は、青少年のスポーツ部門に大変力を入れており、市内の公園には、多くの野球場やサッカー場も整備されています。そのため、少年野球の交流をはじめ、様々なスポーツ交流を実施するための施設が充実しています。さらに、中学校では、インターネットやスカイプを活用した交流をはじめ、グリーティングカードなどの手紙交換や青少年の交換派遣など、様々な交流へと発展させていく可能性も持っています。

以上のことから、フォスターシティ市と姉妹都市を結んだことで、幅広い住民同士の交流が可能となり、新たな出会いや友情の輪を広げ新しい文化が創造されていくこと等、夢はふくらみます。



フォスターシティは自然を活かし、水辺を工夫した美しい計画として開発されました。



7 理事挨拶



会長 安東 道正

平成21年、38年間勤務した製薬会社を定年退社して稲城陶芸教室（現、陶芸クラブいなぎ）を開業し、12年が経過しました。

定年延長を断り陶芸教室を開業するのに家内の反対があり悩みました。その頃順調だった会社をたたみ自分の趣味であるオーダーメイドの自転車を作る会社を立ち上げた社長の話をラジオで聞きました。妻の猛烈な反対がありました。妻の「夫のロマンは、妻の不満」と自分の意思を通し立ち上げました。前より生活が苦しくなりましたが

妻の理解も得て満足な人生を送っていると話しました。その言葉に励まされ定年退職した次に日から陶芸教室をスタートさせました。

平成24年、稲城市民文化祭・芸術祭に出展しました。翌年、稲城市芸術文化団体連合会（芸文連）に入会し、市民活動に参加するようになりました。

平成27年、稲城市友好都市提携検討市民会議が立ち上がり芸文連の代表として参加しました。

交流協会の活動に参加してロータリークラブ、青年会議所、商工会、農業委員会、体育協会、ソロプチミスト、PTA連合会など多くの会の方と交流しました。長年勤務した会社組織の自分と地域で活動している方々の考え方に違いがあることに気づかされました。

多少の違和感はありましたがイノベーションに必要な条件として、若者・馬鹿者・よそ者と割り切り自分の意見を述べました。この条件のよそ者・馬鹿者は該当しますが、若者を語るには定年退職した

自分の年齢には無理がありました。市民活動に参加して間もないことから活動をする上では、若者である割り切りしました。

そして、市民活動に関わって38年間務めた会社で教わった知識やノウハウが役に立つことに気づかされました。人の前で話をするのと、文章を書くこと、人との接し方、多くのことを教えてもらい、それを力に活動できていると思います。改めて会社には感謝しています。

また、市民活動を行うにあたって多くの方々からの温かい言葉、支え、そして叱咤激励があったからこそ、ここまでやってこられたのだと思っております。私の人生の分岐点ともいうべき退職が人生の新たなスタートとなりました。たくさんの方々への感謝の気持ちを糧にこれからも稲城の市民活動の発展に邁進していく覚悟です。



副会長 中井 敏生

20数年前、緑豊かで子育てがしやすい環境に惹かれ稲城市に転入し、途中約7年間の海外赴任がありましたが、都心に近く程よい田舎である稲城は居心地が良い街であると感じています。ただ、以前住んでいたマンションの自治会長を持ち回りで2年間務め、また地域の夏祭りの手伝いをした他には、特に地域に貢献した活動は正直出来ておらず、まさに稲城は自分にとってはベッドタウンという意味以上の位置付けにはなっていませんでした。3年前に30年勤務した会社から転職したのを契機に、自分自身の国際経験を活かせる

る活動に積極的に取り組もうと考
えていたところ、広報いなぎで交
流協会運営準備会委員の公募が目
に留まり応募し準備会委員に加わ
り、その縁で昨年9月の協会発足
時に副会長を拝命致しました。

昨年7月に念願の米国カルフォ
ルニア州フォスターシティとの海
外姉妹都市締結の締結式にも立ち
合うことができ、協会として姉妹
都市交流を着実にまた今後息長く
継続させていく大きな責務を感じ
ております。多くの自治体には国
際交流協会という組織があり、海
外姉妹都市や在住外国人の方々と
の交流活動を活発に取り組んでお
られますが、稲城市のユニークな
ところは、国内外の姉妹友好都市
を基軸に、様々な交流活動を展開
するところであると考えています。

おりしも昨年は東京でオリ
ピック・パラリンピックが開催さ
れ、ダイバーシティ（多様性）と
いう言葉も浸透するようになりま
した。子供から高齢者の方々まで
の幅広い世代の市民の皆様には、海

外姉妹都市の方々や市内在住外国
人の方々との交流を通じた海外の
文化や多様性を知る活動や、国内
姉妹友好都市の方々との交流を通
じた日本国内の様々な地方の文化
や多様性を知る活動を、交流協会
の活動で提供できるようにしてい
きたいと思っております。

当協会は、まだまだ組織が発足
してヨチヨチ歩きの状態ですが、
多くの市民の方にも参画いただい
て、幅広い活動を展開できるように
に、皆様のご参加・ご協力をよろ
しくお願いいたします。



理事・海外交流委員長 岡田 昭人

稲城に開いた世界への窓
米国フォスター市との

姉妹友好都市交流

現、英語のEメールによるペンパ
ルプログラムや都市紹介動画の作
成などを通じて相互的な文化理解
と友好関係の構築に取り組んで参
ります。

私は東京外国語大学で20年以上
にわたって教職に就いておりま
す。専門は比較教育学・異文化コ
ミュニケーション学で、世界約30
か国から集まった留学生と日本人
学生が同じ教室で学習するプログ
ラムを担当しております。授業は
全て英語です。授業中、欧米圏の
学生は積極的に発言しますが、日
本人学生はいつも控えめです。

皆様こんにちは！私は当協会の
海外交流委員会で委員長を務めて
おります。主に稲城市と米国カリ
フォルニア州フォスターシティ市
との姉妹友好都市交流事業を担当
しております。令和3年7月27
日、オンラインによる調印式が開催
され、相互間の国際交流がはじま
りました。将来的には両市の子ど
もたちを対象とした交換留学の実

私自身も20代の頃、アメリカに
3年、イギリスに4年間、留学し
た経験があります。留学生活では
毎日何冊も英語のテキストや論文
を読まなければならず、睡眠時間
を削って勉強しないととても授業
にはついていきません。また英語
ネイティブの教授やクラスメイト
と同等に討論することが求められ
ました。私の拙い英語力では到底
かなうものではなく、悪戦苦闘の

連続でした。

ですがそこから得るものがありました。

「分からない、できないことがたくさんある。でもそこで懸命に努力している自分自身がいる」という経験です。今思えば、留学経験によって「知らないということを知る」ことや「忍耐力」が身についたと思います。

Let a pretty child travel (かわいい子には旅をさせよ)ということわざがあります。

英語の「トラベル(travel)」の語源は、古いフランス語の「トラバユ(travail)」であって、なんと意味は「苦しみ」です。若いうちに異文化に触れ、海外の人々とコミュニケーションがうまく取れない経験をするのはきっと将来に向けた大きな成長の糧となることでしょう。稲城市とフォスター市との国際交流が皆様と世界をつなぐ最初の「窓」になることを期待しています。



理事・国内交流委員長

小沢 重郎

令和2年秋の、姉妹友好都市交流協会の設立に伴い、国内交流委員長を承りました小沢です。

私は、東京都中野区に生まれ、入学した江古田小学校が東京都の音楽教育モデル校だった事で、小学校2年生で選ばれて合唱団に入団してから今日まで、学校・職場・地域の合唱団での活動を通して、コンクールや国内・海外演奏旅行などの様々な経験を積んで参りました。

稲城の前に住んでいた府中では、スイスのローザンヌの合唱団を府中市に迎えての合同演奏会に

出演して、翌年は府中の合唱団がローザンヌ大聖堂で合同演奏を行い、交流会や観光等と楽しい日々を過ごす事が出来ました。その後、府中市がオーストリアのウィーン市ベルナルス区との姉妹都市締結した際には、公募合唱団の一員として現地での演奏会や交流会に参加しました。また府中市のバスを借りて「けやき平和コンサート」が、東北震災の福島県の被災地訪問を行った際も、私は既に稲城市民でしたが、役員として参加いたしました。

この様な形での市民団体の交流は音楽のみならず、文化・スポーツ団体でも可能だと思えます。今はコロナ禍の為に、イベント実施が難しい状況ですが、市内の文化・体育団体に国内3市町村との交流の可能性のアンケート調査と、先方には年間行事の予定や受け入れ体制等の情報照会をしております。

コロナ禍が終息した際には、交流事業が実施できる様に準備を進

めて参りますので、会員の皆様には、先ずは様々なアイデアをお寄せいただきませう様、ご協力をお願い申し上げます。



理事・地域交流委員長

藤田 佑二

稲城国際交流の会に入ってから約30年、その間アメリカ・バーモントのフォーキッズやユージン市、そして中国の稲城県と交流を続けてきたが残念なことに、今も交流を継続しているかといえは継続はしていません。海外の都市と友達になるという事は、そのやり方によってグローバルな社会の中での生き方、いろいろ学ぶ点があると

思います。

今回アメリカ、フォスターシティ市との交流が締結されたことは大変に喜ばしいことだと思っています。お互いがウィンウィンの関係を築いていければ良いと感じます。そのためにはお互いが信頼関係を持ち密度の高い情報の交流が要るわけで、これからの活動次第で交流協会の評価が試されることとなります。

言葉を変えていえば、我々市民が多様な市民活動を行う事が出来るか、世界に関心をもつ人を増やせるかが重要だと考えています。今後もグローバル世界の中で生きていかねばならない日本、グローバル社会を避けては通れないという認識をもつことはとても重要です。異文化を受け入れ、多文化共生による心豊かな市民生活の向上を

追及するというのは交流協会のみならず国際交流の会だって、日本語の会だって考えは同じはずで

す。そこでみんなが協力し合っ
て活動するというのが重要です。
偶々私はそれらの団体のメンバー
でもあるのでお互いがよい関係を
繋げられないか、そんな気持ちで
おります。外国人と日本人が融合
する、これは在住外国人に対して
も目を向ける事が必要だという事
です。その観点から私は地域交流
委員会に目を向け活動していこう
と考えました。今回の交流協会の
組織は海外交流委員会も加わって
三つの委員会がお互いの機能すれ
ば面白いものが生まれるかもしれ
ないと思っています。小生なんの力
もありませんが力いっぱい頑張っ
てみたいと思っています。よろし
くお願いいたします。

姉妹友好都市交流を通じて 稲城を住みやすい街に



理事 今泉 浩史

皆さん、こんにちは。

令和3年5月8日の定時総会で理事を拝命いたしました、今泉浩史です。よろしく願います。

まずは、令和3年7月27日に稲城市とフォスターシティ市との間で、姉妹都市提携締結式が実施されました。新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催になりましたが、この締結式をZOOMウェビナーで見ながら、無事に締結式が実施されたことを非常に喜ばしく思います。

稲城市姉妹友好都市交流協会
は、稲城市民と姉妹都市及び友好

都市の市民との相互交流を推進す

ることにより、多文化共生による心豊かな市民生活の向上及び地域の活性化に寄与することを目的としています。稲城市民と姉妹都市の大空町、フォスターシティ市、友好都市の相馬市、野沢温泉村の方々との相互交流を推進し、この目的を達成するためにどうすればよいのか？現在、市内小中学生の子どもたちは、大空町とホームステイ交流を、野沢温泉村とキャンプやスキー教室などの体験学習といった交流事業を行ってま
す。その他にも交流事業を行って
いますが、より市民一人一人が姉
妹友好都市を身近に感じ参加しや
すい交流も考えていきたいと思
います。現在の新型コロナウイルス
の影響は、従来のように実際に
会って交流を行うことが難しい状
況を作り上げてしまいました。し
かしながら、今回の締結式はオン
ラインを利用した交流の可能性を
感じさせるものでもあったと思
います。実際に現地に行くことなく

オンラインで様々な情報収集やストリートビューなどを利用してその地域を歩く疑似体験をすることも可能です。また、児童生徒は事前の調べ学習の方法として、インターネットも利用しています。無論自由に行動ができるようになれば、現地に足を運び、現地の空気を肌で感じる必要がありますが、それまでは、オンラインによる交流を進めていくことも一つの手段と考えます。

まずは、稲城市の姉妹都市・友好都市がどんなまちなのかを市民の皆さんに知っていただくために、私たちも様々な媒体を使って情報発信に努めていきたいと考えています。

最後に、交流協会は、どなたでも入会できます。姉妹友好都市の市民との交流がしたい方、どの様なことができるかわからないが楽しそうだなと感じていただけた方は、ぜひ、一緒に活動してみませんか。



理事 寺島 彰

私が稲城市の姉妹友好都市交流活動に関わろうと思ったきっかけは、稲城市を詳しく知りたい、という思いからでした。

稲城市に住み始めたのは、平成30年で、理事の中では最も稲城歴の短い新参加者です。東京で就職し、世帯をもって最初に選んだ街が稲城でした。正直、東京に稲城市があることすら知らなかったのですが、家を探しているときに、23区に近く、空と山と森が見える場所を選んだところ、それが稲城市との出会いでした。岐阜出身のわたしにとって、東京いうと、スプロールが進み、家と道路ばかりの平

坦なところだと思っていたのですが、想像と違って自然豊かな場所でした。子育てを始めたのも稲城市です。鳥を始め、虫やたぬきなど身近に動物がいる場所で子育てがしたいと思っていた私にとって大変理想的な街でした。そんな、稲城市をもっと知りたい、その市政に関わっていききたい、そう思い始めたときにあったものが、交流協会設立準備会でした。

姉妹友好都市活動という、とにかく海外の都市との交流活動を重点的にすすめるイメージが強いですが、稲城市の取り組みが他と異なる点は、稲城市内の在住外国人を意識した取り組みを掲げているところです。諸外国から日本に就労、留学、結婚で移住した外国の方が、住んでる地域の方々と交流し、住みやすい街にしていることは、一筋縄でできることではありません。しかし、それを支援する取り組みは、行政を始め十分でないのが実情です。学生時代から、留学生の友人と交流し、私

自身も国際結婚をしており、海外で暮らすことの大変さを知っていました。そこで、この姉妹友好都市の活動に参加し、より稲城市を住みやすい街にしたいと思ったのです。

現在、私は地域交流委員会に所属しています。地域交流委員会は、稲城市在住外国人の方を対象に、交流事業を展開する取り組みをしております。本年度は、私が主催する地域防災活動をテーマに尽力してきました。災害はどんな環境の方も避けられないものです。ただ、国によっては「防災」という概念がない国もあります。つまり、在住外国人にとって、日本視点での一律な防災周知・活動は身近に感じることはできない可能性があります。在住外国人視点で、災害から身を守るためにはどんな取り組みが必要か、ゼロから考える活動を目指しています。今後は、稲城市だけでなく、姉妹友好都市との連携を通して、過去の教訓の伝承や在住外国人主体の防災活動へ

と昇華させていきたいと思っています。

また、地域交流委員会の副委員長を努める傍ら、広報委員の委員長として会報誌の作成や名刺の作成など、交流協会の活動を広く知ってもらうためにはどうか、という取り組みをあれこれ模索しております。ぜひ、この会報誌を読んでくださった皆様も、一緒に姉妹友好都市を盛り上げる一員になりませんか。



理事 中村 燈

「海外の街と姉妹都市になる。」
この長年の夢が実現するにあたり、本当に多くの皆様の熱い思

いのご尽力があったことと思います。まずは、フォスターシティとの姉妹都市提携、誠におめでとうございます。

私自身は平成29年、平成30年と「稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会」の委員長を務めさせていただき、交流協会の事業内容及び組織体制、運営方法等について検討を進めてきました。準備会においては、平成27年の「稲城市海外姉妹都市提携検討市民会議」当初からの検討に携わってこられた角田亨先輩（本会顧問）から、「海外との姉妹都市提携に向けて夢が膨らんでいくような、わくわくするような意見を引き出してほしい」とご指導いただき、皆様から具体的な構想をいただけてまいりました。

一方、交流協会としては、海外姉妹都市交流だけでなく、既存の国内姉妹都市・友好都市との交流、また地域における国際交流も担っていかうということとなり、組織体制や運営の在り方を検討しまし

た。その結果、「海外交流委員会」「国内交流委員会」「地域交流委員会」という3委員会制を取り、各委員会に所属する会員が、それぞれ事業を構築していくという会の基本体制を整備することができました。

令和2年によく交流協会を設立することができましたが、コロナ禍もあり、事業の実施についてはまだこれからというところで。私は、「国内交流委員会」「地域交流委員会」の2つの委員会に所属させていただいており、地域交流委員会では外国人等を対象とした稲城市内のウォーキングツアーを企画しています。この魅力的な稲城の街の中で、国籍を超えた繋がりが生まれ、笑顔が広がっていきような事業にしたいと考えていますので、奮ってご参加いただけますと幸いです。

私事ですが、準備会当時に第二子、そして昨年は第三子を出産しました。まだまだ手がかかる子供たちを抱えながらですが、交流協会に

についてもじっくりと育んでいきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



理事 中家 敬士

この度は、稲城市姉妹都市友好都市交流協会設立1周年大変おめでとうございます。思い起こせば、稲城市では女満別町（大空町）と国内で初めて姉妹都市の提携をしました。平成5年に青少年委員、体育指導員（スポーツ推進委員）、体育協会の3者により視察して参りました。その後数回訪町し交流を深めています。平成27年4月に「友好都市提携検討市民会議」が

設置され稲城市体育協会からの推薦により委員として参加し、相馬市並びに野沢温泉村との友好都市の提携に向けての経緯の説明を受け、視察の実施により提言を市長に提出し、その年の8月18日に相馬市と、11月17日に野沢温泉村との友好都市協定の締結式が行われました。

引き続き海外都市との姉妹都市提携候補予定地について、準備会を経て10月に「稲城市海外姉妹都市提携市民会議」が設立され、フォスターシティ市を候補地とした経緯の説明を受け多岐にわたり検討しましたが結論に至らず、翌平成28年6月に従来の委員の他に公募市民を含め「稲城市海外姉妹都市検討市民会議」が設置され、フォスターシティ市を候補地として作業部会を置き候補地も含め多方方面にわたり検討しました。又市民会議の代表の一員として、現地視察を経て最適地であるとの結論において、今後市民間で交流出来るよう交流協会の立ち上げを添えて

市長に提言し平成29年1月18日に終了しました。

令和2年9月27日に晴れて交流協会が設立されました。令和3年7月27日にフォスターシティ市と姉妹都市協定締結式が行われ6年の歳月を経て今日に至りました。

国内外の市民と文化、スポーツのみならず様々な交流によりお互いの歴史や文化に理解を高め、永く交流出来ることを希望いたします。



理事 原 忠男

交流協会理事の原 忠男です。

私は会社員時代に、USAのロスアンジェルスに4年程駐在しており、サンフランシスコを含む、

カリフォルニア州を拠点に活動しておりました。そんなご縁があり、平成28年頃、市長より「フォスターシティ市と姉妹都市を結ぶ構想があるのでは協力して欲しい」とのお話を頂き、「私の海外での経験が地域のお役に立てるなら」と、交流協会の前身の「海外姉妹都市推進委員会」に参加させて頂きました。

平成29年1月には他のメンバーと4人で現地視察にも参加させて頂きました。フォスターシティ市はサンフランシスコ空港からも車で30分足らずで、風光明媚なラグーン（水郷）を有するウォーターフロント都市で、サンフランシスコのベッドタウンでもあります。人口は約3万人で、古い建物を新しく建て替える再開発が進んでおり、治安も良く、住みやすい新しい市と言う印象を持ちました。教育にも力を入れており、様々な国から来た子供達への語学教育もきっちり出来ていました。

令和3年7月に、稲城市とフォスターシティ市が姉妹都市提携の調印もWEBではありましたが、執り行われ、晴れて海外初の姉妹都市が生まれました。

稲城市にとっても、言語が「英語」、訪問も「直行便」があり、治安面でも「安全」と言う、好環境ですので、海外姉妹都市を結ぶのにフォスターシティ市はピッタリの都市です。これからは民間ベースで、様々な交流が期待できます。例えば、小中学生の子供達はペンパルや夏休みを利用した相互訪問、高校生になれば交換留学生やホームステイ等、語学研修を含め、様々な学びの場が得られると思います。社会人は、スポーツ交流から文化交流まで幅広く、双方で交流が可能になります。隣接のサンフランシスコでは、日本祭りも盛んなので、それに稲城から踊りや太鼓で参加することや、お茶やお花で日本文化を紹介することも出来ます。

稲城市とフォスターシティに姉妹都市と言う「橋」は架かりました。市民の多くの方がこの橋を通しての交流を期待しております。



理事 藤島 亮子

藤島です。稲城に住むようになってもうすぐ15年ですが、自然豊かでくらしやすいこの街が大好きです。特に中央公園の山道や城山中を愛犬達と一緒に歩くことが大好きです。また、日常の買い物などは一通り稲城市内で揃うので、苦手な都心にわざわざ出かける必要がないことも嬉しいです。
現在ラポパーティという国際交

流を目的の一つとした英語だけでなくコミュニケーション力や企画力、創造力、社会力などを身につける教室の指導者をしています。その活動の中で外国の方のホームステイの受け入れや、中学生の生徒達の北米1か月ホームステイの斡旋をしています。他にも日本に住む留学生などを招き、日本の文化紹介をしたり、外国の事を学んだりするイベントを開催しています。子ども達が異文化交流を体験する事で視野やもの事の考え方が広がり、飛躍的に成長していく姿を見て嬉しく思っています。
この度、稲城市がアメリカ、カリフォルニア州のフォスターシティと姉妹都市を締結すると聴き、自分の経験が活かせる場があるのではないかと思い理事に立候補しました。フォスターシティを始めさまざまな姉妹都市や友好都市との交流活動を子ども達が積極的に行う事で将来の稲城市をリードしていくような人間に育てて欲しいと願っています。



稲城市姉妹友好都市を紹介するパネル展

8 事業紹介

【パネル展を開催しました】

令和3年1月26日(火)から2月9日(火)まで、稲城市役所および中央文化センターのロビーにおいて、稲城市の姉妹都市である北海道大空町、友好都市である福島県相馬市・長野県野沢温泉村、そして今後姉妹友好都市の締結が予定されているアメリカ合衆国カリフォルニア州フォスターシティ市との交流の歴史や風景、街の様子などを写真で紹介しました。
多摩テレビでも放映され、多くの方にご覧いただきましたが市民の方からは「各自治体と稲城市が、どのようにして交流が生まれたのかなどを知ることができた」との声をいただきました。



パネル展 神野天杜くん写真展

【子どもカメラマン 神野天杜（たかと）くん写真展を開催しました】

令和3年2月1日（月）から3月19日（金）まで、地域振興プラザ1階において、姉妹都市である北海道大空町の神野天杜くんが撮

影した人物・風景・乗り物など、数多くの作品から力作を厳選して展示しました。

神野天杜くんは、姉妹都市交流が縁で結婚されたご両親、父孝志さん（大空町）、母里美さん（稲城市）のお子さんとして大空町で生まれ育ちました。そして、2歳

になる頃からカメラに興味を示し、ご両親のカメラを手に地元のお祭りや家族写真を撮り続け、7歳の誕生日には「誕生日プレゼント3年分」として、一眼レフカメラをおねだりして買ってもらったそうです。それから週末には必ず庁内の催しに出向き、熱心に撮影を続け、小学校2年生の時には美幌峠をテーマにしたフォトコンテストのジュニア部門でグランプリを受賞するまでになりました。

しかし免疫の異常による血液の病気を患い、9歳という短い生涯を閉じることになりましたが、それまでに撮り貯めた写真は、実に8千枚を超えるということです。天杜くんの写真展のことは、令和3年2月20日（土）の読売新聞でも取り上げられて大変な反響があり、市外からも多くの方々が鑑賞に来られました。

【交流協会ロゴマークが決定しました】

稲城市姉妹友好都市交流協会のロゴが決定いたしました。ロゴマークは、稲城市内でイベントや里山活動をされておられますデザイナーの坂本太郎さんに作成をお願いいたしました。

決定したロゴマークは、稲城市の地形にグローバルを表す地球とIIFA (Inagi Inter-city Friendship Association : 稲城市姉妹友好都市交流協会の英語名の

略称)のAに日本を表す日の丸で構成されている素晴らしいデザインです。みなさまにも親しまれるロゴとして、今後、交流協会のホームページや各種印刷物など、様々なシーンで活用してまいります。



稲城市姉妹友好都市交流協会
Inagi Inter-city Friendship Association

稲城市姉妹友好都市交流協会 ロゴマーク



フォスターシティ市との姉妹都市提携協定 締結式

「フォスターシティ市と姉妹都市提携を締結しました」

令和3年7月27日（アメリカ合衆国 7月26日）、稲城市地域振興プラザで「日本国東京都稲城市とアメリカ合衆国カリフォルニア州フォスターシティ市との友情と協力のための姉妹都市提携協定」締結式が執り行われました。締結式は新型コロナウイルスの状況を鑑み、オンライン形式で両市の会場をつなぎ、開催されました。



稲城市姉妹友好都市交流協会からは、安東道正会長、中井敏生副会長、岡田昭人海外交流委員長が出席しました。

締結式では、青少年の交流・文化の発展・観光など幅広い分野における交流を通じ、持続可能な発展目標の達成と、相互の理解・連携を深めることを確認し、稲城市の高橋勝浩市長、フォスターシティ市のゲハニ市長、稲城市姉妹友好都市交流協会の安東道正会長、フォスターシティ姉妹都市協会スティーヴ・オカモト会長が、協定書に署名を行うとともに、画面越しに固く握手を交わしました。

稲城市姉妹友好都市交流協会としましては、海外交流委員会主導のもと、年齢・性別を問わず、多くの稲城市民の方とフォスターシティ市民の方が交流できるよう、推進してまいりたいと考えております。今後も、会員の皆様および市民の皆様のご協力をいただきましたと存じます。

【姉妹都市大空町産の農産物販売所を訪れました】

令和3年10月22日～24日に開催されました、大空町の農産物販売所を交流協会会長と理事が訪れました。

本来は「Iのまち稲城市民まつり」で販売を予定していた農産物の影響により、市民まつりが中止となり、農産物販売所にて期間限定で販売されました。販売された農産物は、実が大きく立派なものばかりで、多くの市民の方がお買い求めにいらっしやいます。



一般財団法人めまんべつ産業開発公社の方々との懇談

した。短時間ではありましたが、一般財団法人めまんべつ産業開発公社の方々と有意義な懇談をすることができました。

今後、交流協会としても、姉妹都市である大空町の方々との交流を更に進めていくよう努めて参ります。

【在住外国人向け地域防災活動・消防署との打ち合わせを実施しました】

地域交流委員会では、今年度事業のひとつとして在住外国人向け地域防災活動を推進しています。

その活動の一環として、交流協会として外国人向けにどのような地域防災活動ができるか、その期待とニーズを調査するために、稲城市消防本部と稲城市役所市民協働課と打ち合わせを実施しました。

打ち合わせの中では、交流協会に期待する地域防災活動について、ご紹介頂き、また、交流協会で作成しているオリジナルハ

ザードマップについて意見交換が行われました。また、11月開催の防災訓練に向けて、交流協会としてガイドツアーを実施することが検討されました。

【交流協会オリジナルハザードマップを作成しました】

地域交流委員会では、在住外国人向け地域防災活動として、交流協会オリジナルハザードマップを作成しました。在住外国人をはじめ、誰でも視覚的に危険箇所がわかりやすいように危険箇所の写真のマッピングや、ハザードマップをもとにしたクイズ、また、役立つ防災情報を掲載するなど、ハザードマップや防災に興味を持ってもらえる仕掛けがなされています。また、稲城市の外国人構成比率を加味して、多言語バージョン（英語、中国語、韓国語、ベトナム語）を作成しました。今後、防災訓練や地域防災活動をすすめる

中で、中核となる資料として広報を進めていく予定です。資料は交流協会ホームページよりダウンロードできますので、是非ご覧ください。

【稲城市主催の防災訓練にて、外国人向けガイドツアーを開催しました】

令和3年11月7日（日）にふれんど平尾にて開催された稲城市防災訓練にて、ガイドツアーを実施しました。稲城市にお住まいの外国人の方数名が参加してください、起震車体験や災害用伝言ダイヤル体験などのほか、防災備蓄品の説明を行いました。

また、交流協会ブースでは、多言語で作成した協会オリジナルのハザードマップや交流協会のパンフレットを配布し、興味深く質問して下さる方々もおられ、成功裏に終了いたしました。今後も外国人への防災情報の周知活動を協会にて進めていきたいと考えておま



オリジナルハザードマップ 日本語版



オリジナルハザードマップ 韓国語版



オリジナルハザードマップ 英語版



オリジナルハザードマップ 中国語版

稲城市姉妹友好都市交流協会
Inagi Inter-city Friendship Association

参加無料 Free

みんなで行こう！稲城防災訓練ガイドツアー

11/7 (日) 10:00~11:00 全2回開催

ふれんど平尾
稲城市姉妹友好都市交流協会 テント前集合

稲城市在住の外国籍の方 ※先着順 (随時対応あり)
※日本人対象のガイドの予定はありません

体験する
稲城市防災訓練で地震を知って身を守る方法を学ぼう！！

知る
地震の揺れって？

役立つ
身を守る方法は？

ガイドツアーでは訓練の様子や災害伝言ダイヤル体験など展示物のツアーを開催します

若葉台駅 稲城市立若葉台小学校
ふれんど平尾 稲城市立平尾小学校
駐車場 (平尾小)

主催：稲城市姉妹友好都市交流協会
https://inagi-ifia.org/
お問合せ 稲城市姉妹友好都市交流協会
事務局 〒206-0802 稲城市廣島 2112-1
地域振興プラザ内市民活動サポートセンター1号室
TEL: 042-378-2112 / FAX: 042-378-6971



会場に設置した交流協会ブースにて委員スタッフと理事にて、協会の紹介・ツアーを実施しました





どんど焼きの点火の様子を見学



穴澤天神社にて祈禱を体験



小沢城とVロードから稲城市を望む

【稲城の魅力発見ウォーキングツアーを開催しました！】

令和4年1月10日（月・祝）に「魅力発見ウォーキングツアー」を実施しました。

今回のウォーキングツアーでは、塞ノ神の見学と穴澤天神社での祈禱体験、小沢城址などを訪れ、最後は南山の巨大開発をスカイシヤトルから眺めました。

小正月には、塞ノ神の行事を各地域で行っています。コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年のように大規模ではありませんが、今年も各地域で実施されました。

私達は、稲城第七小学校で開催された矢野口地区のどんど焼きを訪れました。外国人参加者は初めての方が多く、「火を見ると興奮するね」「インドの田舎と同じだね」と、一様に感激した様子でした。

さらに、よみうりVロード経由で小沢城址へ向かい、鎌倉幕府の御家人である稲毛重成が築城されたと伝わる小



沢城址を探索しました。近辺のお城は開発などで見る影もありませんが、こ小沢城址は、当時の姿を彷彿とさせ、歴史に興味のある方には大いに喜んでいただけました。

最後は、Vロードを歩いて、南山の工事エリアを横目に丘の湯へ向かいました。時間も押していたため、十分な紹介をすることはできませんでしたが、南山の巨大開発をスカイシヤトルから眺め、集合場所と同じ京王よみうりランド駅に着いたときは皆さん満足気な顔でした。

今回のウォーキングツアーでは、2歳から72歳までの幅広い層の外国人参加者17名に参加いただき、「稲城にこんなところがあったのか」と稲城の魅力を発見してくださいました。

9 今後のイベント情報

詳しいイベント情報は、当協会ホームページにてお知らせします。

「フォスターシティ市とのペンパルプログラム参加者募集」

フォスターシティ市の市民の皆さんとのペンパル企画しました。フォスターシティ市のペンパルと交流してみませんか。

- ▽期間 令和4年4月～7月
- ▽対象 4月からの学年で高校生以下の学生（高校生・中学生・小学生）
- ▽参加費 無料（ただし通信費やパソコンなどの機材は各自負担）
- ▽定員は50名程度。応募状況によりお申込みいただいても参加できない場合があります。
- ▽募集締切 4月8日（金）
- ▽その他インターネットやパソコンなどは各自でご準備ください。

「大空町の大豆を使用した味噌づくり体験」

大空町の大豆を使用した味噌づくりの体験会を予定しています。

▽日時 令和4年秋頃（予定）

「稲城の魅力発見ウォーキングツアー」

稲城市内の名所を散策し、稲城の魅力を発見しましょう。年3回予定しているウォーキングツアーは、それぞれ異なる地区を案内します。

- ▽期間 初夏・秋・冬の年3回
- ▽対象 稲城市民および在住外国人

「防災訓練ガイドツアー」

稲城市が主催する防災訓練にて、市内在住の外国人の方向けにガイドツアーを実施します。会場の交流協会受付にて交流協会が作成した多言語版のハザードマップ

（日本語・英語・韓国語・中国語・ベトナム語）を配布します。

▽日時 令和4年秋頃（予定）

▽対象 稲城市に在住している外国人

10 会員募集

交流協会の

会員になりませんか？

稲城市姉妹友好都市交流協会では当協会の趣旨・目的にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。

詳細や入会方法は交流協会公式ホームページをご覧ください。

本会報誌へのお問い合わせ

稲城市姉妹友好都市交流協会 事務局
〒206-0802

稲城市東長沼2-1-2 地域振興プラザ1階 市民活動サポートセンター
いなぎ内

市民活動サポートセンターいなぎ

TEL 042-378-2112

FAX 042-378-6971

本会報誌で掲載する文章および写真等構成物、並びに本会報誌の著作権は稲城市姉妹友好都市交流協会が所有します。無断での転用・転載・複製並びにそれに準ずる行為を禁止いたします。

会員種別・会費

正会員：委員会に所属し、総会での議決権あり

個人	1口 2,000円
団体	1口 10,000円
家族	1口 3,000円 (同居家族に限定し、一律とする)

賛助会員：当協会の事業を賛助するために入会し、総会への出席不要

個人	1口 1,000円
団体	1口 5,000円

※年度単位での会費（年度途中での入会でも同額）

※年度途中での退会でも会費の返金はいたしません。



協会
インスタグラム



協会
フェイスブック



協会
ホームページ